

令和4年(2022年)10月4日(火曜日)

順大、医療拠点に進出意向

三島駅前再開発核施設



三島市のJR三島駅南口東街区で2026年度の完成を目指して進められている再開発事業で、エリアの核となる広域健康医療拠点

に、伊豆の国市などで付属病院を運営する順天堂大が進出の意向を示していることが、3日までの関係者への取材で分かった。高度機能を有する健診センターや外来診療などの医療設備を導入する方針。

現時点の計画では、再開発で建設が予定される高層棟の4階に約千平方メートルの医療スペースを設ける。順大によると「高機能健診センターを中心に専門性の高い

外来機能を運営する予定」とし、事業主体のミサワホームと設置構想について協議を進めているという。周辺地域の県東部では静岡がんセンター、ファルマバレーセンターなど先進医療や産業の動きが広がる中、連携により市と周辺エリアを核としたさらなる健康増進の環境整備を推進する。

一方、順大の進出による地域医療への影響や地元病院とのすみ分けが見通せ

ず、市医師会では不安や懸念の声も上がっている。組合側は駅前の施設と既存の医療機関は互いに協力、補完し合う関係を目指す考えで、今後医師会との調整や説明を進める方針。順大も「地域の診療所との間で病病・病診連携を積極的に行う」とした。

再開発事業は、三島駅南口の市営駐車場や民有地などにマンションが入る地上91階の高層棟や商業施設などを建設し、エリア全体を広域健康医療拠点と位置づけて街中のにぎわい創出を図る。事業費は209億円で、このうち市、県、国の補助金は計84億円。

(三島支局・金野真仁)